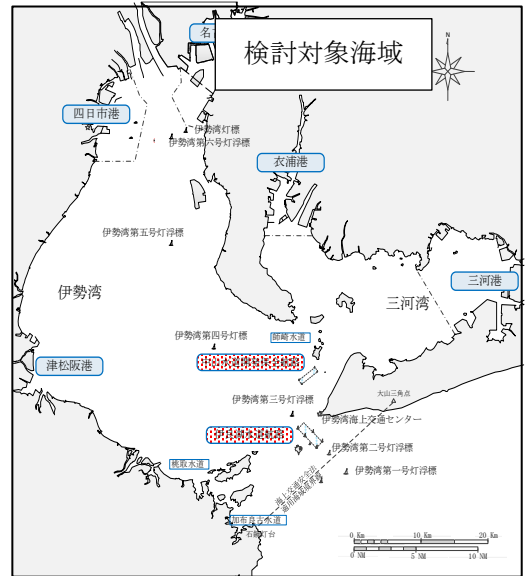


令和4年度補助事業の概要 〈公益社団法人 伊勢湾海難防止協会〉

1 調査研究事業

伊勢湾・三河湾海域を利用する一般船舶、操業漁船、プレジャーボートの海域利用の実態と課題について調査検討し、安全で効率的な海域利用の推進を図る上において、引き続き実施すべき対策、新たなる必要となる対策について整理するとともに、関係者間における相互理解と安全意識の共有を図り、安全で調和のとれた海域利用の推進と海難防止に寄与することを目的とし、「伊勢湾・三河湾における海域利用の実態と諸問題に関する調査研究」事業を実施した。

本事業では、伊勢湾・三河湾における海域利用の実態を踏まえ、本委員会の中に検討部会として、鳥羽部会・知多南部部会・三河部会・名古屋部会を置き、検討の充実を図り、その結果を本委員会にフィードバックして取り纏めを行った。

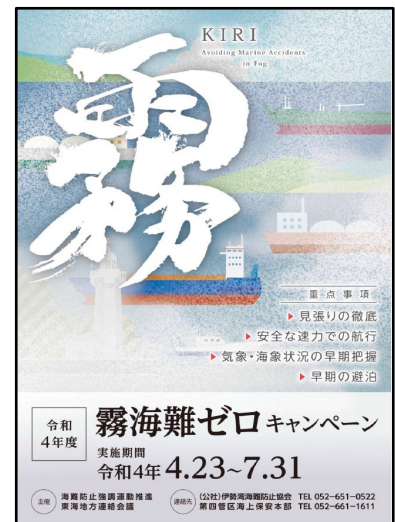


2 周知宣伝事業

(1) 海難防止活動

海難防止強調運動推進東海地方連絡会議を主催し、海の事故ゼロキャンペーン（7/16～7/31）を展開するとともに、霧海難ゼロキャンペーン（4/2～7/31）を実施した。

特に霧海難ゼロキャンペーンは、平成17年7月に熊野灘で発生したタンカー衝突海難事故を契機とし、平成18年度から海霧の発生多発時期に地方運動として実施している。



(2) 会報の発行

当協会の事業活動（調査研究事業・海難防止活動等）を会員等に広く周知し、海上交通の安全確保に寄与することを目的として、年2回、会報「伊勢海報」を発行している。令和4年度は、4月に137号、10月に138号を発行した。

